

児童生徒の好ましい傾向と学習及び生活上の課題（概要）

藤井寺市教育委員会では、昨年度実施された平成28年度全国学力・学習状況調査の結果も踏まえ、今回の調査結果を分析いたしました。

学習については、依然全体的に全国や大阪府に比べて数値は低いものの、小学校の算数については大きく改善が見られます。また昨年度に引き続き、小中学校において「国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしている」「算数や数学の問題の解き方が分からないときは、諦めずにいろいろな方法を考える」という回答が増加傾向にあります。授業において、問題解決型の学習をはじめとした様々な取組みの成果が見られます。しかし、主体的な学習や、身についた基礎的な学力を応用していくことについては、今なお継続的な課題となっており、さらなる授業改善の工夫に取り組む必要があります。

生活については、「学校に行くのが楽しい」「学級みんなで協力して何かをやり遂げ、うれしかったことがある」と回答した児童・生徒の割合が高く、あわせて「先生は間違えたところや分からないことについて、分かるまで教えてくれる」と回答する児童・生徒の割合も増え、児童生徒が協力し、意欲的に学校生活を過ごしており、各校の教育活動の取組みの成果と考えられます。いじめに関する質問についても、「どんな理由があってもいけない」と回答した児童・生徒の割合はとても高いものでした。しかし、「自分には良いところがあると思う」「将来の夢や目標を持っている」と回答した割合は、特に中学生において減少傾向にあります。学校・家庭・地域における様々な経験の中で、自分が認められたり、達成感を味わえたりするような経験が必要であると考えます。

新学習指導要領が平成32年度より小学校で、33年度より中学校で実施されます。新学習指導要領の基本的な方向性である「主体的・対話的で深い学び」に備えていく必要があります。今後も児童・生徒が将来の夢や目標を持ち、いきいきと日々の生活を送ることができるよう、自己肯定感と豊かな人間性を育む教育の推進を図ってまいります。

本調査によって見られる本市児童・生徒の好ましい傾向と学習及び生活上の課題の概要については、以下のとおりです。

（1）学習について

児童・生徒の好ましい傾向

- 学習した基礎的・基本的な知識や技能を身につけていること
- 国語において、漢字の読みができていること
- 算数・数学において、基礎的な計算ができていること
- 算数・数学において、「よくわかる」「諦めずに色々な方法で考える」という肯定的な学習姿勢が向上していること
- 中学校において、読書に親しむ習慣がついてきていること

課 題

- 算数・数学において、式や用語の意味について理解すること
- 自分の考えを目的や意図に応じて記述すること
- 複数の情報を的確に関連づけてまとめることや、伝えたい事柄や根拠を明確にして自分の考えを書くこと
- 自分で課題をたてて解決していく学習に取り組むこと

(2) 生活について

児童・生徒の好ましい傾向

- 学校に行くのが楽しいと感じていること
- ものごとを最後までやり遂げてうれしかった経験があること
- 難しいことでも、失敗を恐れずに挑戦していること
- 家の人と学校での出来事などについてよく話をしていること

課 題

- テレビやビデオ、ゲーム、スマートフォンを「見る」「する」時間を決め、家庭学習や読書等の時間を確保できるよう、計画的にバランスよく時間を活用すること
- 主体的に家庭学習に取り組むこと
- 自分の地域の行事や社会のことについて関心を持つこと
- 人やものとの出会いを通じて、自分の将来の夢や目標を持つこと
- 中学校において、朝食を毎日食べること

学習面の課題から、各学校で「生きる力」（確かな学力・豊かな心・健やかな体）を育み、子どもたちが意欲的に学習し、学びの達成感を感じ、自己肯定感が育まれる授業が何よりも大切です。そのため、学校は多様な学習形態や指導法を組織的に研究し、日々の授業で実践する必要があります。

また、「本やインターネット等で、じっくり調べる活動」「話し合いで、考えを広げ深める活動」「自分の考えをまとめる活動」「自分の考えや説明したいことをわかりやすく表現する活動」等の言語活動の実践をさらに進めていくとともに、子どもたちが受け身で授業にのぞむのではなく、主体的・対話的で深い学びとなる実践を積み重ね、家庭学習にもつながるような授業改善が、今まさに求められています。

教育委員会では、児童・生徒が生き生きと活躍する授業をめざし、教職員研修、各学校の特色に応じた授業研究、授業作りの研修会の開催、個に応じた習熟度別指導の工夫等が推進されるよう支援してまいります。さらに、豊かな学びの環境作りのため、学校図書館やICTを活用した学習の充実に、より一層取り組んでまいります。